

# 立科町の防災対策について

よく当町は災害の少ない地域だといわれていますが、それは長い間、実際に大きな災害に遭わなかった結果から、「立科町は安全」という意識が形成されてきたと考えられます。当町に限らず、日本全体でも東日本大震災が起こるまで「日本は安全」という意識があったのではないのでしょうか。

しかし、震災後、国、県、市町村、また自治会でも防災対策の見直しが始まりました。

今回は、立科町の現在の取り組み状況を報告します。

其の1

## 立科町地域防災計画を見直しています

この計画は、防災対策の基礎となる方針をまとめたもので、平成14年に全面改訂、平成19年に一部改訂と計画を見直しています。今回、震災後、防災対策に関する基準や考え方がより安全を重視した内容に変更されており、それに対応するため見直しを進めています。詳細については、今後、防災会議等開催しますので、その都度情報提供をしてまいります。



其の2

## 立科町・一般財団法人 中部電気保安協会長野支店 災害時における電気の 保安に関する協定を 締結しました

8月7日、立科町役場会議室において長野支店長 倉持高久様にお越しいただき協定を締結しました。

これは、電気設備のプロである中部電気保安協会にご協力いただき、災害時に電気を必要とする避難所等の電気復旧をより早くするためのものです。また、今回の協定は、中部電気保安協会から協定締結についてお話をいただき、締結することが出来ました。

災害は起きないことが一番ですが、今後は協定書に基づき災害時の体制を整えてまいります。

## ご紹介

### 一般財団法人 中部電気保安協会

「私たちは、電気利用に関する幅広いサービスをお届けし、環境にやさしく安心して快適な社会の実現に貢献します」を経営理念として、昭和40年に設立されました。

身近なところでは、中部電力株式会社からの委託を受け、4年に一度、家庭や商店、事務所などを訪問し電気の安全点検を行っています。

また、高圧で受電している需要設備や発電設備を持っている方から委託を受け、電気設備の保安管理業務を行っています。

### 立科町・一般財団法人中部電気保安協会長野支店 災害時における電気の保安に関する協定締結式



町長と握手を交わす倉持支店長